

「平成25年度京都丹波いじめ・非行防止フォーラム」を開催しました!

9月7日(土)、京丹波町の和知ふれあいセンターで、管内市町から200名近い方々に参加いただき、南丹教育局で初めての取組となるフォーラムを開催しました。

趣旨

社会総がかりで子どもをはぐくみ、いじめや非行を起こさせない地域づくり、協働の関係づくりに取り組む気運を高める。

アピール

いじめ・非行防止のために、家庭・学校・地域の連携と協働が必要であることについて、アピールを行いました。



公益社団法人 京都府青少年育成協会
会長 勝間 喜一郎

【参加者の感想】

○歴史のある和知太鼓は、

いつ聞いても心を揺さぶられるものがあります。その伝統をしっかりと受け継いでいる子どもたちに力強さを感じました。

○すばらしい太鼓でした。心に響く演奏でした。中学生が地域の伝統文化を学び継承していくことに、頼もしさを感じました。この中学生が近い将来、地域を支える立派な、すばらしい大人に成長してくれるでしょう。

オープニング

＜和知太鼓＞ 京丹波町立和知中学校生



体験発表

＜東日本大震災被災地支援＞ 京丹波町スポーツ少年団員



【参加者の感想】

○京丹波町が一つになって頑張っておられる姿を見せていただき、勇気づけられました。

○とても素晴らしい取組に、心がいやされました。私も身近なところからでも何か行動を起こしたいと感じました。

○町を挙げて子どもたちの活動を支援してこられたこと、そして今後も継続していこうとされていることに敬意を表します。健全育成そのものです。

講演

演題：「かかわりが育む、信頼のきずな～困難を越える力を子どもたちに～」

講師：京都府立大学 副学長・教務部長 教授 築山 崇 氏

【参加者の感想】

○私たちがどうやって子どもや地域と関わりを持てばいいのか、子どもたちの出番をどうやって作ってやればいいのか、何かできることがあれば、今後、意識して生活していきたいと思いました。

○「学校でもない、家庭でもない、いわゆる地域での活動や体験が、困難な社会を生き抜く力につながっていく。」という言葉が、印象に残りました。

○少子化の現代に「子どもを育てる」と力むのではなく、今、行っている地域の行動や活動の中に子どもを引き込んでともに進めることが、互いに育ち合うことだと改めて感じました。

○地域づくりの中に、子どもたちを参画させていくことが必要であること、そのためには、まず、大人どうしがつながる仕掛けが大切であることを学びました。

